

2014年7月2日
マレーシア政府観光局

報道関係者各位

マレーシアのスローライフの魅力を垣間見ることができる
マレーシアの大ベストセラー児童向け漫画
『カンポン・ボーイ』出版発表

< 2014年7月2日（水）第21回東京国際ブックフェアにて >



マレーシア政府観光局（東京支局：東京都千代田区、東京支局長：ノール・アズラン）は、2014年7月2日（水）、東京ビッグサイトにて開催されている第21回東京国際ブックフェア（TIBF）において、マレーシア政府として出展し、本年度ASEAN 諸国としては初めてテーマ国に選ばれたことをお知らせするとともに、マレーシアを代表する国民的なベストセラー児童向け漫画『カンポン・ボーイ』（東京外国語大学・マレーシア翻訳・書籍センター共同出版）の日本語新訳版が正式発表されたことをお知らせします。

『カンポン・ボーイ』の日本語版は、ラット氏（本名：ダト・モハマド・ノール・カリド）による文芸作品です。本書は、日本でも1984年に旧訳版が『カンポンのガキ大将』（荻島早苗・末吉美栄子訳）として出版されているほか、英語、フランス語、オランダ語、韓国語など、世界12か国語に翻訳されています。すでにドイツではテレビアニメ化され、オーストラリアやブラジルでは教科書にも収録されるなど国際的に人気を博しています。本の内容は学習書として適しているだけでなく、マレーシアの民族社会を知る貴重な記録資料ともなっています。今回発表された新訳版は、東京外国語大学で東南アジア研究を専攻する学生たちの教材として使用される予定です。

7月2日（水）～5日（土）までの4日間の会期中を通して、マレーシアの出版関連団体20社は、1,500件以上の著作権取引を行う予定で、取引額は600万RM（約1億8千万円）にのぼることが見込まれています。本イベントは、1,000件以上の電子書籍を取り扱い、世界25か国から過去最多の1,530社の出展が予定され、アジア最大級の見本市でもあり、とりわけ世界最大級の規模を誇る電子書籍の見本市としても国内外からの注目を集めています。今年「マレーシア観光年」ということもあり、「文学」と「観光」の初のコラボレーションが実現し、マレーシアのビーチリゾートをイメージした、300㎡を有するパビリオンを作りました。オープニングセレモニー終了後には、本イベントの名誉総裁である眞子親王殿下も初公務としてマレーシア・パビリオンにお立ち寄りになり、ラット氏の説明にも熱心に耳を傾けていました。

マレーシア翻訳・書籍センター社長のモハメド・カイルガディロン氏は以下のように語っています。「今回のブックフェアでの『カンポン・ボーイ』の共同出版は、3年前から推し進めてきたマレーシア戦略の一つです。マレーシアと日本の二国間で知的財産を共有することは両国双方に恩恵をもたらし、とりわけ東南アジアにおける文明の発展に寄与するものと考えています。」

マレーシア政府観光局 東京支局長のノール・アズランは以下のように抱負を述べています。「観光年（Visit Malaysia Year）という大きな節目の年を迎えた 2014 年は、日本人の年間渡航者数の目標数値を過去最高の 60 万人と掲げ、より一層の観光客誘致に向け様々な観光プロモーションを行っていきます。今回の東京国際ブックフェアでの書籍を通じた両国間の文化交流がより深まることでより多くの日本の皆様がマレーシアへの渡航に興味を持っていただけることを願っています。このたび、おかげさまで本年度のロングステイ財団調査で 2006 年から 2013 年まで住みたい国人気国 8 年連続 1 位を受賞したことは、日本人の皆様の関心の高さと受け止め、ますますより多くの皆様の観光誘致につながるよう努めてまいりたいと思います。」

日本国内では、現在以下の観光プロモーションを行っています。

●2014 年 4 月～ 日本語公式 HP にて、マレーシア各都市の街歩きの楽しさを伝える「ジャランジャランマレーシア」ページを新たに追加しました。（*ジャランジャラン=街歩きの意味）

<http://www.tourismmalaysia.or.jp/jalan/index.html>

●2014 年 6 月 3 日～8 月 20 日まで、Facebook 上にてマレーシア通を目指す「ジャランジャラン検定」を実施しています。

http://www.tourismmalaysia.or.jp/jalan/fb_campaign.html

●2014 年 6 月 5 日～10 月 31 日まで、クロスワードに答えてマレーシア旅行が当たる「マレーシア・セブン・アイ・ランド」キャンペーンを実施しています。

<https://malaysia-7islands.com/>

以上

参考資料：『カンポン・ボーイ』の著者 ラット氏について

LAT (DATUK MOHD NOR KHALID)

ラット（本名：ダト・モハマド・ノール・カリド）



ラット氏は、マレーシアならびにアジアの代表的な漫画家としてよく知られています。1951 年 3 月 5 日に、ペラ州のコタ・バルに生まれました。小さい頃から絵を描くのが好きで、13 歳のときに初の単行本を出版しました。1979 年に発表された『カンポン・ボーイ』（英語版）は、国内外において最も反響が大きかった作品です。この作品は今日までに、12 の言語（英語、マレー語、中国語、タミール語、日本語、ポルトガル語、フランス語、ドイツ語、アラビア語、オランダ語、韓国語、インドネシア語）に翻訳され、世界中で出版されました。

また、ラット氏は、アメリカ合衆国における多民族の社会関係に関する研究を行い、1998 年のアイゼンハワー・フェローシップ賞を受賞したほか、2002 年には福岡アジア文化賞（芸術・文化賞）を受賞しました。ラット氏の作品は、マレーの土着文化を色濃く映し出しており、マレーシアの歴史文化の視覚情報記録としても価値を高めています。さらに、2005 年にペトロナス・ジャーナリズム賞において、審査員特別賞を受賞し、また、2007 年にはマレーシア国民大学（UKM）より、文化人類学・社会学の分野での名誉博士号が授与されました。

マレーシア政府観光局について

マレーシア政府観光局は、マレーシアの観光文化省下に帰属し、あらゆるレベルでマレーシアの観光プロモーションを行うことに特化した政府機関です。当機関が設立された当初から、国際ツーリズムのシーンにおいて飛躍的な発展を遂げてきました。2012 年、マレーシアは全世界から 2,500 万人の観光客、6060 億リンギット（約 1 兆 8,180 億円）の歳入、世界第 10 位の観光地としての人気を誇っています。4 度目の観光年を迎える 2014 年度、マレーシア政府は、2020 年までの目標として、3,600 万人の観光客と、1,680 億リンギット（約 5 兆 400 億円）の歳入実現を掲げています。これは、経済変革プログラム（高所得を生み出す可能性の高い 12 の主要経済分野）（NKEA）のうち、マレーシア観光改革 2020（MTTP）に組み込まれています。

- **マレーシア政府観光局公式サイト（日本語）**
www.tourismmalaysia.or.jp/
- **マレーシア政府観光局公式 Facebook**
www.facebook.com/tourismmalaysia.japan
- **2014 年マレーシア・トゥルーリー・アジア・プロモーションビデオ**
blog.malaysia-asia.my/2014/01/malaysia-truly-asia-video-2014-by-yuna.html
- **2014 年マレーシア観光年公式テーマソング**
www.youtube.com/watch?v=0HDcO1szjEQ

プレスの方からのお問合せ先/ご取材お申し込み先

キャンドルウィック株式会社 中尾・橋爪

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前 5-6-4 Path OMOTESANDO C-3F

Tel: 03-3498-2770 / Fax: 03-3498-2771

E-mail :press@candlewick.co.jp